

Shipping Guide

月

基本発行日：祝日を除く月、水、金曜日 1部416円
発行所 株式会社 オーシャンコマース 〒105-0013東京都港区浜松町1丁目2番11号(葵ビル)
TEL: (03)3435-7470(編集)・7510(広告・スケジュール)・7630(販売・総務)
FAX: (03)3435-7892(編集・広告・スケジュール) ☎:0120-827-773(購読・書籍のお問い合わせ、申し込み)

No. 11,184

SHIPPING GUIDE

Monday, January 6, 2025

紅海のコンテナ船通航量79%減

23年11月以来、フーシ派の商船攻撃続き

香港の海運調査会社、LinerLyticaの最新レポートによると、2023年11月に紅海でイエメンの武装組織フーシ派による商船への攻撃が始まって以来、コンテナ船の紅海通航回数は70%減少した。

月間平均の通航回数は、2023年が11カ月間で606回だったが、2024年にはわずか174回に減少した。

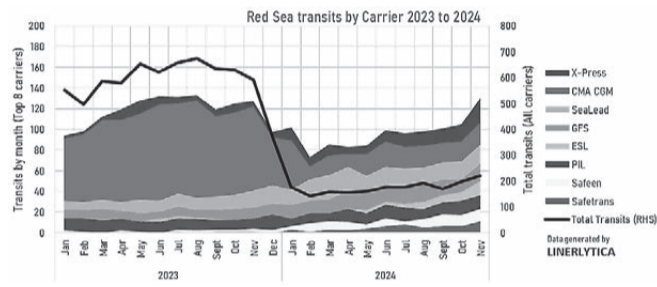
TEUベースの総輸送能力で測定すると、コンテナ船の月間平均輸送能力は23

年の590万TEUから2024年にはわずか54万4,000TEUへ91%も減少しさらに深刻となっている。

主要コンテナ船社上位10社のすべてが24年始めから紅海の通航を中止している

一方で、CMA CGM(仏)は一部のコンテナ船を配船するなど、一部の船社が紅海での航行を維持している。

24年8月以降、X-Press Feeders(シンガポール)、Emirates Shipping Line



韓中航路の1~11月累計コンテナ輸送量7.8%増

フィーダー貨物が急増

黄海定期船社協議会(YSLSC)がまとめた韓中航路における24年1~11月累計コンテナ輸送量はローカル、フィーダーの往復航合計で321万8,391TEUと前年同期比7.76%増加した。うちローカル貨物は303万4,115TEUで7.17%増、フィーダー貨物は18万4,276TEUで18.37%増加した。

韓国から中国向け西航は114万3,747TEUで8.28%

増加、うちローカル貨物は106万3,433TEUで6.50%増、フィーダー貨物は8万314TEUで39.13%増と急増した。一方、中国から韓国向け東航は207万4,644TEUで7.47%増加、うちローカル貨物は197万682TEUで7.54%増、フィーダー貨物は10万3,962TEUで6.14%増だった。

1~11月累計の韓中コンテナ貨物の中国主要港における取扱量は、上海港が81万7,616TEUで2.89%増、新港が37万881TEUで8.93%増、青島港が57万899TEU

で16.1%増と好調だったが、寧波港は32万6,291TEUで0.32%減、大連港も15万5,991TEUで0.26%減と低調だった。

日本/東南アジア・KTX1~4 1~4月の改訂、新設発表

OOCLは今年から予定していた日本/台湾/東南アジア航路のサービス改編の最新情報を発表し、KTX1~3の3サービスを1~4月に順次改編、またKTX4を新設する。

KTX1は2月上旬から、

さらにコンテナ船の供給増加で、多目的船との競争が激化、プロジェクト船の供給不足は新造船の受注残が少ないために続き、用船料が上昇、さらに25年に引き渡しの遅れが増えれば、プロジェクト船の運賃が急騰する可能性がある」とみている。

地域別では、エネルギープロジェクトが予定通り進んでいることから、特にアジア域内のプロジェクト船の需要が堅調に推移する見込みだが、地政学的リスク、高関税懸念、軽度のエルニーニョ現象の影響で、特に一般貨物やバルク商品の世界貿易に大きな影響がでる可能性も示唆している。

増補改訂版
日本海運のコンテナ50年史
~箱根丸からONE STORK(ワン ストーク)へ~
吉田泰治 著

記者時代の詳細な記録と海事資料を検証、数少ない関係者から証言を収集し、整然と記録している注目の一冊。半世紀に亘るコンテナ船発展のなかで、邦船集約、米国84年海事法・独禁法制定と海運同盟の瓦解、外貿埠頭公団や邦船ターミナル経営と港湾運営など、戦後の日本海運の重要な変革を記録、解説しています。

A5判、398頁 定価1,500円(+税)
TEL.03-3435-7630 FAX.03-3435-7896 sales@ocean-commerce.co.jp **株式会社 オーシャンコマース**

(ESL、UAE)、AD Ports Group(UAE)傘下のSafeen Feedersなどの小規模船社によるインド大陸と

中東ガルフと紅海を結ぶ新規サービスも増加している。一方、黒海とバルト海のニッチ船社としては、

SeaLead Shipping(シンガポール)とSafetrans Line(香港)は24年に年間を通じて紅海の航行を維持した。

高雄を抜港、基隆に追加寄港し、2月1日東京入港"Akiteta"(2,226TEU、Voy.028S)から東京~横浜~名古屋~神戸~大阪~基隆~台中~泉州~ホーチミン(SP-ITC)~シンガポール~ポートクラン~ホーチミン(CAT LAI)~蛇口~厦門~東京となる。

KTX2は4月上旬に投入船を現在の3隻から4隻に増強し、往航で南沙、復航で厦門に追加寄港、大阪~東京~横浜~名古屋~神戸~香港~南沙~レムチャバン~蛇口~香港~厦門~大阪の新ローテーションでサービスする。

KTX3は当初、今月1日から新ローテーションへの改編

を予定していたが4月上旬に延期した。新KTX3はダーチャンベイを抜港、蛇口に追加寄港し、4月1~2日東京入港"OOCL NewZealand"(4,578TEU、Voy.137S)から、東京~名古屋~四日市~神戸~高雄~蛇口~シンガポール~ジャカルタ~香港~高雄~東京のローテーションでサービスする。

KTX4は日本とマニラを結ぶもので8~9日マニラ出港、17~18日大阪入港の"Hansa Osterburg"(1,740TEU)から大阪~神戸~東京~横浜~高雄~香港~マニラ(北港)~マニラ(南港)~香港~蛇口~大阪のローテーションでサービスを開始する。

越・韓国の祝日対応で 両国向けDOC CUT前倒し

ONE Japan Ocean Network Express Japan(ONE Japan)はこのほど、今月下旬のベトナム、韓国での旧正月連休への対応を発表し、ベトナム向けもしくは同国積み替え第三国向け貨物で1月25日~2月3日ベトナム到着予定のDOC CUT日を当初の1月23~24日から1月22日に前倒しにする。釜山向けもしくは釜山經由第三国向け貨物を対象に、1月28~31日釜山到着予定のDOC CUT日を当初の1月24~29日から1月23日に前倒しにする。

Clarksons、CIIで46%がDかE予想 外航船の半数、2年以内に課題に直面か

英国の海運造船調査分析会社Clarksons Researchのデータによると、今後2年間で外航船の約半数が23年から導入された燃費実績格付け制度(CII)の課題に直面し、継続的な変革とアップグレードが必要になる見込みだ。

CIIは船舶のエネルギー効率を測定するための国際海事機関(IMO)の指標で、格付けはA~Eの5段階で実施する。

格付け結果が「E」または「3年連続でD」の低評価となった場合、「CII基準値を達成するための実施計画、自己評価及び改善に関する

手順」(SEEMP Part III)に燃費改善計画を記載し、旗国主管庁または代行検査機関(RO)の確認を受ける必要がある。

5,000gt以上のすべての外航船は、24年から毎年CII評価を受けることになり、評価の基準は2030年までに段階的に厳しくなる予定だ。

Clarksonsでは、省エネ技術に対する社会の関心が高まり続ける中、多くの船舶が依然として低いレベルで評価されていると指摘、世界の船舶は1万基以上の省エネ機器を設置しているが、石油タンカー、ばら積み船、コンテナ船のほぼ半数は、2026

年までに依然として国際的な炭素排出規制の厳しい訓練にさらされることになるとみている。

Clarksonsのデータによると、2年以内に船舶の46%がCIIで「D」または「E」に評価されることになり、この傾向は、船舶運航者がより厳しいビジネス上の課題や規制の圧力に直面することを意味している。

温室効果ガス(GHG)排出削減に対する世界的な要件がますます厳しくなるにつれて、エネルギー効率が低い船舶は、技術のアップグレードや運航効率の改善などを含む、新しい環境基準を満たすために多くの投資を行う必要が出てくるものとしている。

25年のプロジェクト船の運賃高止まり Drewry予測、船腹不足の中、需要強含みで

Drewry Maritime Research(英国)は最新レポートで、多目的船市場は地政学的リスクな影響や関税などの問題にもかかわらず、プロジェクト貨物に対する強い需要がけん引、2025年には用船者、船主ともに好業績をあげると予想した。

Drewryの一般貨物とプロジェクト貨物の海上輸送指数は25年に上昇するが、一般貨物指数とプロジェクト貨物指数の差は海運市場に影響を与える特定の動向により拡大する可能性が高いとみている。

用船市場は25年に一般貨物船の用船料が1~7%上昇、プロジェクト船の用船料は10~20%上昇すると予想する。

供給面では、多目的船の運航船隊が当初の予想より増加せず、6,000万dwtにとどまり、24年後半の新造船発注はわずかで、26年までに引き渡される新造船の数を微調整しており、今後2年間の引き渡しは鈍化する可能性が高く、一般貨物船の発注の大部分は代替船となるため、増加はわずかと見込んでいる。

国際輸送ならお任せください

世界15カ国以上、30社超の信頼できるパートナーと共に、ドアツードア一貫輸送を提供しています。

LCL/FCL一貫輸送
Nippon Marine Logistics, Ltd.
Tokyo: 03-5649-9110

WAN HAI LINES LTD.
WE CARRY, WE CARE.

ベトナムダイレクトサービス: JSVサービス
関西/ベトナム
Fixed Day Weekly Service

ベトナムビジネスにお応えするHochiminh (Catlai port)とDanangをカバーする画期的なサービスです。

Hakata	土日	Taipei	(土):4Days.
Kobe	月-月	Kaohsiung	(月):6Days.
Osaka	月-火	Danang	(水):8Days.
		Hochiminh (Catlai)	(金):10Days.

Direct call to

General Agents: **WAN HAI LINES (JAPAN), LTD.**
Tokyo (03) 5511-1562 (B/L:5511-1575) Osaka (06) 4963-8601 (B/L:4963-8603)

韓国とベトナムが 昨年暮れにAEO MRA

貿易円滑化に貢献期待

韓国関税庁(KCS)とベトナム税関総局は昨年12月24日、AEO(認定相事業者)の相互承認取り決め(AEO MRA)を締結した。

両国間のAEO MRA締結は2016年から協議を開始、コロナ禍などで進展しなかったが、昨年の韓越首脳会談をきっかけに再び推進、今回締結に漕ぎついた。

AEO MRAは輸出入貨物の審査・検査の際、当該貨物が相手国のAEO事業者による輸出入貨物である場合、その資格を自国のリ

スク評価に反映することで、両国のサプライチェーンのセキュリティレベルを向上させつつ、AEO事業者の通関手続を一層円滑化することが可能となるもの。

KSCでは、韓国からベトナム向け輸出貨物のうち、AEO企業が占める割合が約57%(約303億ドル)に達するだけに、今回のAEO MRA締結で輸出競争力が大きく強化されると期待している。また、韓国は10大輸出貿易相手国のすべてとAEO MRAを締結したことになる。



一方、ベトナム側は2024年8月現在、韓国では935者がAEOの認定事業者として輸出入活動、物流、港湾運営に従事しており、同国の輸出額の約50%、輸入額の70%に貢献、また、ベトナムでは76者がAEOに認定、輸出入総額の30%以上を占めており、越韓自由貿易協定(VKFTA)や世界貿易機関(WTO)の貿易円滑化協定(TFA)の促進にもつながるものとして期待をかけている。

ロシアの造船所で 初のLNG運搬船完工

北極海LNGプロジェクトに

ロシアのズベズダ造船所(Zvezda Shipyard)で昨年12月25日、アイスクラスのLNG運搬船“Aleksey Kosygin”が、ウラジオストク近郊の造船所から試験運

航に出港した。船体ブロックは韓国のサムスン重工業で建造されたが、ロシアの造船所によって完成した初のLNG運搬船で、25年にロシアの主力LNGプラントであるArctic LNG2向けに就航する予定。Arctic LNG2は、北極海経由の通年輸送のために、アイスクラスLNG運搬船21隻を整備を計画、Arctic7 LNG運搬船は全長280m、全幅48.8mで、北極海航路に沿って年間を通じて航行できるように設計、厚さ1.7mまでの氷海を移動



することが可能だ。

サムスン重工が船体ブロックを建造、前部貨物隔壁までの船体は、2021年10月にズベズダ造船所に曳航、仏メーカーGTTが防熱装置”GTT MARK-III”システム、MAN(独)、Wärtsilä(フィンランド)が推進システムを供給、ズベズダ造船で完成させた。

サムスン重工は当初、15隻の船体ブロックの供給契約を結んでいたが、対ロシア制裁により2024年に契約を解除するまで、5隻分のみを納入した。第2船も数カ月以内に完工予定だが、残り3隻はEUによる第8次、第9次対口経済制裁で不透明な状況という。

11月のコンテナ取扱量 9.2%増・18.2万TEU

オークランド港

カリフォルニア州・オークランド港における24年11月の総コンテナ取扱量は前年同月比9.2%増の18万1,721TEUと13カ月連続のプラスになった。

うち実入りの輸入は13.1%増の8万580TEU、輸出は8.5%増の6万6,619TEU、空コンの輸入が14.8%減の1万2,028TEU、輸出は14.7%増の2万2,495TEUだった。

1~11月の総コンテナ取扱量は前年同期比10.1%増の208万275TEU、うち実入りの輸入は15.4%増の87万9,371TEU、輸出は6.9%増の61万6,567TEU、空コンの輸入は4.6%減の15万2,732TEU、輸出は11.6%増の33万1,606TEUだった。



EVERGREEN LINE

エバーグリーン・ SHIPPING・ エージェンシー・ ジャパン株式会社

Tokyo (EXP BKG) (03)6408-3440 Shimizu (054)352-4559
(IMP) (03)6408-3450 Nagoya (052)232-2651
(B/L Sect) (03)6408-3510 Osaka (06)6264-6707
Fukuoka (092)674-1400

↑ Feeder Service

— All schedule subject to change with or without notice. —

北米西岸 (HTW/ANP)			↑TOKYO	↑Y'HAMA	↑S'MIZU	↑NAGOYA	↑Y'ICHI	↑OSAKA	↑KOBE	↑IWAKUNI	↑MOJI	↑HAKATA	Los Angeles	Tacoma	Vancouver
EVER MAST	9V7629	1386-004E	(HTW)	1/15	1/16	1/10	1/18	1/17	1/ 8	1/ 7	—	1/14	1/15	—	—
EVER STEADY	9V6386	0075-116N	(ANP)	1/11	1/11	1/10	1/18	1/19	1/12	1/12	—	1/14	1/15	—	2/16
EVER MAST	9V7629	1386-004E	(HTW)	1/19	1/20	1/17	1/23	1/22	1/16	1/12	1/18	1/21	1/23	—	—
EVER STRONG	9V5282	0077-121N	(ANP)	1/18	1/18	1/20	1/23	1/23	1/19	1/19	1/18	1/21	1/23	—	2/23
EVER MEMO	9V7641	1387-003E	(HTW)	1/24	1/25	1/24	1/27	1/27	1/22	1/22	1/29	1/28	1/29	—	—
A VESSEL	—	—	(ANP)	1/25	1/25	1/31	1/29	1/30	1/26	1/27	1/29	1/28	1/29	—	3/ 2
A VESSEL	—	—	(HTW)	1/30	2/ 1	1/31	2/ 2	2/ 1	1/30	1/29	2/ 1	2/ 3	2/ 4	—	—
A VESSEL	—	—	(ANP)	2/ 1	2/ 1	2/ 3	2/ 5	2/ 5	2/ 1	2/ 2	2/ 1	2/ 3	2/ 4	—	3/ 9

北米東岸 (SAX/AUE/PEX3)			↑TOKYO	↑Y'HAMA	↑S'MIZU	↑NAGOYA	↑Y'ICHI	↑OSAKA	↑KOBE	↑IWAKUNI	↑MOJI	↑HAKATA	New York	Savan-nah	Charles-ton	Norfolk	Balti-more	Hous-ton	Mobile	New Orlean
COSCO SHIPPING PEONY	VRRU6	032E	(SAX)	1/11	1/11	1/10	—	1/16	1/15	—	1/18	1/18	2/25	—	3/ 4	—	—	—	—	—
TEXAS TRIUMPH	3FMG7	1290-033E	(AUE)	1/15	1/16	1/16	1/18	1/17	1/12	1/12	—	1/14	3/ 5	3/ 1	—	3/ 9	3/10	—	—	—
COSCO PHILIPPINES	VRGM7	OPGJZE1MA	(PEX3)	1/11	1/11	—	1/ 9	1/16	1/15	—	1/18	1/18	—	—	—	—	—	3/ 3	3/ 6	3/ 8
OACL BANGKOK	VRME6	063E	(SAX)	1/18	1/18	1/17	—	1/22	1/23	1/18	1/25	1/26	3/ 4	—	3/11	—	—	—	—	—
EVER MODE	9V7648	1291-002E	(AUE)	1/19	1/20	1/21	1/23	1/22	1/19	1/19	1/18	1/21	3/12	3/ 8	—	3/16	3/17	—	—	—
CMA CGM ELBE	9HA3731	OPGK1E1MA	(PEX3)	1/18	1/18	—	1/19	1/22	1/23	1/18	1/25	1/26	—	—	—	—	—	3/10	3/13	3/15
COSCO EXCELLENCE	VRJT8	071E	(SAX)	1/25	1/25	1/24	—	1/30	1/29	1/29	2/ 1	2/ 2	3/18	—	3/25	—	—	—	—	—
A VESSEL	—	—	(AUE)	1/24	1/25	1/26	1/27	1/26	1/27	1/29	1/28	1/29	3/19	3/15	—	3/23	3/24	—	—	—
CMA CGM BIANCA	9HA2889	OPGK3E1MA	(PEX3)	1/25	1/25	—	1/23	1/30	1/29	1/29	2/ 1	2/ 2	—	—	—	—	—	3/17	3/20	3/22
COSCO EXCELLENCE	VRJT8	071E	(SAX)	2/ 1	2/ 1	1/31	—	2/ 5	2/ 6	2/ 1	2/ 8	2/ 9	3/18	—	3/25	—	—	—	—	—
TRITON	9HA4272	1293-042E	(AUE)	1/30	1/31	2/ 1	2/ 2	2/ 1	2/ 1	2/ 1	2/ 3	2/ 4	3/26	3/22	—	3/30	3/31	—	—	—
CMA CGM OHIO	9HA4132	OPGK5E1MA	(PEX3)	2/ 1	2/ 1	—	1/29	2/ 5	2/ 6	2/ 1	2/ 8	2/ 9	—	—	—	—	—	3/24	3/27	3/29

欧州 (CEM)			↑TOKYO	↑Y'HAMA	↑SHIMIZU	↑NAGOYA	↑Y'ICHI	↑OSAKA	↑KOBE	↑IWAKUNI	↑MOJI	↑HAKATA	Rotterdam	Felixstowe	Hamburg
EVER ALOT	3E4008	1332-010W	1/19	1/20	1/21	1/19	1/17	1/16	1/12	1/18	1/14	1/18	2/26	3/ 2	3/ 6
EVER ATOP	9V7624	1333-009W	1/24	1/25	1/26	1/26	1/22	1/22	1/22	1/29	1/21	1/26	3/ 5	3/ 9	3/13
EVER GREET	3FLF4	1334-022W	1/29	1/30	1/31	2/ 2	1/30	1/30	2/ 2	2/ 6	1/28	2/ 2	3/12	3/16	3/20
EVER ACT	3E2429	1335-013W	2/ 6	2/ 7	2/ 8	2/ 9	2/ 8	2/ 5	2/ 5	2/ 8	2/ 3	2/ 9	3/19	3/23	3/27

地中海 (MEX1)			↑TOKYO	↑Y'HAMA	↑SHIMIZU	↑NAGOYA	↑Y'ICHI	↑OSAKA	↑KOBE	↑IWAKUNI	↑MOJI	↑HAKATA	Valencia	Barcelona	Marsaxlokk
CMA CGM SCANDOLA	9HA5325	OMEJXW1MA	1/16	1/17	1/21	1/18	1/19	—	1/ 9	—	1/14	—	2/23	2/25	3/ 5
A VESSEL	—	—	1/21	1/22	1/26	1/23	1/23	1/16	1/16	1/18	1/21	1/19	3/ 2	3/ 4	3/12
CMA CGM GREENLAND	FMPU	OMEK1W1MA	1/27	1/28	—	1/29	1/30	1/27	1/23	1/29	1/28	1/31	3/ 9	3/11	3/19
A VESSEL	—	—	2/ 3	2/ 4	2/ 8	2/ 5	2/ 5	1/30	1/30	2/ 1	2/ 3	2/ 2	3/16	3/18	3/26

カリブ海 (CAC/CAN)			↑TOKYO	↑Y'HAMA	↑SHIMIZU	↑NAGOYA	↑Y'ICHI	↑OSAKA	↑KOBE	↑IWAKUNI	↑MOJI	↑HAKATA	Colon C.T.	↑Barran-quilla	↑Carta-gena	↑Caucedo	↑Rio Haina	↑San Juan
TEXAS TRIUMPH	3FMG7	1290-033E	1/11	1/11	1/16	1/18	1/17	1/12	1/12	—	1/14	1/15	2/26	2/28	3/ 2	3/ 2	3/ 3	3/ 5
EVER MODE	9V7648	1291-002E	1/18	1/18	1/21	1/23	1/22	1/19	1/19	1/18	1/21	1/23	3/ 5	3/ 7	3/ 9	3/ 9	3/10	3/12
A VESSEL	—	—	1/25	1/25	1/26	1/27	1/30	1/26	1/27	1/29	1/28	1/29	3/12	3/14	3/16	3/16	3/17	3/19
TRITON	9HA4272	1293-042E	2/ 1	2/ 1	2/ 1	2/ 2	2/ 1	2/ 1	2/ 1	2/ 1	2/ 3	2/ 4	3/19	3/21	3/23	3/23	3/24	3/26

南米西岸 (WSA)			↑TOKYO	↑Y'HAMA	↑SHIMIZU	↑NAGOYA	↑Y'ICHI	↑OSAKA	↑KOBE	↑IWAKUNI	↑MOJI	↑HAKATA	Manzanillo	Balboa	Buena-ventura	Callao	Val Paraiso
EVER LYRIC	BKKH	0714-065E	1/16	1/17	1/10	1/19	1/15	1/12	1/12	1/18	1/14	—	2/10	2/18	2/20	2/26	3/ 3
EVER LAWFUL	9V9288	0715-061E	1/21	1/22	1/20	1/23	1/22	1/19	1/22	1/29	1/21	1/19	2/17	2/25	2/27	3/ 5	3/10
EVER LIBRA	BKIC	0716-077E	1/27	1/28	1/31	1/30	1/29	1/26	2/ 2	2/ 6	1/28	1/31	2/24	3/ 4	3/ 6	3/12	3/17
A VESSEL	—	—	2/ 3	2/ 4	2/ 4	2/ 5	2/ 5	2/ 1	2/ 5	2/ 8	2/ 3	2/ 2	3/ 3	3/11	3/13	3/19	3/24

南米東岸 (ESA)			↑TOKYO	↑Y'HAMA	↑SHIMIZU	↑NAGOYA	↑Y'ICHI	↑OSAKA	↑KOBE	↑IWAKUNI	↑MOJI	↑HAKATA	Rio de Janeiro	Santos	Nave-gantes	Monte-video	Buenos Buenos	Para-nagua
KOTA PELANGI	9V5296	040W	1/16	1/17	1/10	1/18	1/19	1/12	1/12	—	1/14	1/15	2/19	2/20	2/23	2/27	2/28	3/ 7
EVER FASHION	5LBS5	1627-019W	1/21	1/22	1/17	1/23	1/23	1/19	1/19	1/18	1/21	1/23	2/26	2/27	3/ 2	3/ 6	3/ 7	3/14
EVER LISSOME	2HDG3	1628-067W	1/27	1/28	1/24	1/29	1/30	1/26	1/27	1/29	1/28	1/29	3/ 5	3/ 6	3/ 9	3/13	3/14	3/21
EVER LOTUS	3FWH8	1629-064W	2/ 3	2/ 4	1/31	2/ 5	2/ 5	2/ 1	2/ 1	2/ 1	2/ 3	2/ 4	3/12	3/13	3/16	3/20	3/21	3/28

南アフリカ (ASA)			↑TOKYO	↑Y'HAMA	↑SHIMIZU	↑NAGOYA	↑Y'ICHI	↑OSAKA	↑KOBE	↑IWAKUNI	↑MOJI	↑HAKATA	Durban	Cape Town
COSCO IZMIR	VRMJ7	081W	1/19	1/20	1/21	1/23	1/17	1/16	1/15	1/18	1/18	1/19	2/19	2/26
SEASPAN TOKYO	VRIZ5	114W	1/24	1/25	1/26	1/27	1/22	1/27	1/23	1/29	1/25	1/31	2/26	3/ 5
BAI CHAY BRIDGE	3FAD8	143W	1/29	1/30	1/31	2/ 1	1/30	1/30	1/30	2/ 6	2/ 1	2/ 7	3/ 5	3/12
KOTA SINGA	9V2131	069W	2/ 6	2/ 7	2/ 8	2/ 9	2/ 8	2/ 6	2/ 6	2/ 5	2/ 8	2/ 9	3/12	3/19

オーストラリア (CAT)			↑TOKYO	↑Y'HAMA	↑SHIMIZU	↑NAGOYA	↑Y'ICHI	↑OSAKA	↑KOBE	↑IWAKUNI	↑MOJI	↑HAKATA	Melbourne	Sydney	Brisbane
TIAN SHUN HE	BOTP	2501S	1/19	1/18	1/21	1/23	1/17	1/15	1/12	—	1/14	1/15	2/13		

印・バダバン港開発でMoU 2,000億ルピー投入した港湾開発 TiL・JNPA

MSCグループ (スイス) のターミナル会社、Terminal Investment (TiL) とインドのJ.ネール港務局 (JNPA) はこのほど、インド・マハラシュトラ州のバダバン港における2,000億インドルピーを投入するコンテナターミナル開発で合意覚書 (MoU) を締結した。

バダバン港における港湾開発は、特別目的合弁会社のVadhvan Port Project

Ltd (VPPL) が実施し、同社の株式はJNPAが74%、州政府の海事委員会が26%を保有し、インドで最大となる7,622億ルピーを投入する港湾開発計画を進めている。

港湾開発は、第1期工事で2029年までに年間貨物処理能力2億9,800万MT、コンテナ2,320万TEU規模のターミナルの稼働を開始する計画だ。

JNPAの関係者は「TiLとの提携はインドの海事セクターの将来性を証明するだけでなく、最新の港湾インフラ技術を導入し、持続

可能性にも配慮した港湾として世界水準の拠点を構築することを意味する」と述べた。TiLは2023年現在、世界31カ国で70コンテナターミナルを運営し、年間コンテナ取扱量は6,500万TEUに達する。



11月のコンテナ取扱量 4%増・40.8万TEU

バレンシア港

バレンシア港における24年11月の総貨物取扱量は前年同月比7.0%減の538万トンだった。

コンテナは2.2%減の435

万トン、個数ベースで4.0%増の40万8,000TEUで、うち積み替え (T/S) は4.5%増の20万TEUだった。

また在来貨物は25.7%減の72万7,000トン、ドライバルクは17.4%減の17万トン、液体バルクも25.7%減の72万7,000トンといずれも減少した。

1~11月の総貨物取扱量は前年同期比7.8%増の6,723万トンで、うちコンテナは9.7%増の5,331万トン、個数ベースで14.2%増の496万TEU、うちT/Sは17.5%増の250万TEUだった。

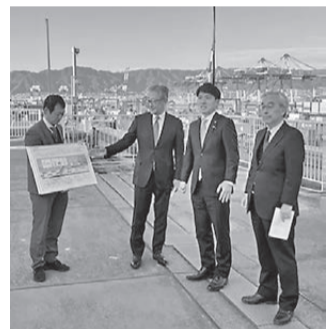
在来貨物は3.2%増の1,075万トン、液体バルクは22.7%減の108万トン、ドライバルクは4.0%増の168万トンだった。

中野大臣神戸港視察 木戸社長が取組説明

阪神国際港湾

阪神国際港湾は、中野洋昌国土交通大臣が24年12月25日に神戸港ポートアイランド2期地区を視察、同社の木戸貴文社長が国際コンテナ戦略港湾の取り組みについて説明した (写真上) と発表した。

中野国土交通大臣が神戸港を視察、同港の神戸国際コンテナターミナル (KICT) を訪れた



際に説明したもので、写真下は中野大臣と関係者の記念写真。



1月タイ・バンコクに 駐在員事務所を開設

澁澤倉庫

澁澤倉庫は、東南アジア域内物流の拡充に向けた情報収集と市場調査のため、2025年1月、タイ・バンコクに駐在員事務所を開設する。

澁澤倉庫バンコク駐在員事務所 (Shibusawa Logistics Corporation Bangkok Representative Office, 952 Ramaland

Building 11F1, Rama 4 Rd., Suriyawongse, Bangrak, Bangkok 10500 Thailand) は1月27日に業務を開始する予定。

同社グループは「中期経営計画2026」の成長戦略として掲げる「海外物流ネットワークの拡充」に向け、タイと近隣諸国における情報収集と市場調査の体制を強化し、顧客のニーズに対応するため、駐在員事務所を開設する。今後は、同社グループの現地法人がある香港、中国、ベトナム、フィリピンの各拠点と日本との地域連携を強化し、東南アジア域内物流におけるネットワークを強化するとともに、将来的には現地法人の設立を検討していく方針だ。

総取扱貨物量は23年 連続一位堅持見込み

名古屋港管理組合

名古屋港管理組合は、2024年の名古屋港港湾統計の推計値を発表、総取扱貨物量は前年比0.5%減の1億5,700万トンと23年連続で日本一を堅持する

見込みで、外貿コンテナ取扱個数は0.6%増の254万8,000TEUと全国第3位の見込みだ。

貨物の内訳では、輸出では背後地域の産業構成を反映して、完成自動車、自動車部品、産業機械、輸入は産業や暮らしを支える原材料となるLNG、鉄鉱石、原油、石炭などが大きなウエイトを占めた。

入港船舶は、外航船でフルコンテナ船などが減少し、内航船で一般貨物船などが減少することにより、隻数については、2万7,100隻 (前年比4.2%減) と前年実績を下回り、総トン数については、2億1,500万総トンと前年並みとなる見込みだ。

SPG Shippingが社名変更 1月からShandong Marine

総代理店：日本通運

日本通運は、同社が総代理店を務める山東港口航運集団有限公司 (英名：Shandong Port Shipping Group Co.,Ltd) が、所属する山東省港口集団有限公司 (英名：Shandong Port

Group Co.,Ltd.) の組織再編の一環として、2025年1月1日から、「遠洋」という文字を加え、山東遠洋海運集団股份有限公司 (英名：Shandong Marine Corporation) に社名変更し、サービスを展開していくことを決定したと発表した。

社名以外のサービス内容に関しては変更しないものの、B/Lフォームやホームページのアドレスを変更する予定だ。その他全て現行通りの体制となる。B/Lフォーム変更対象本船は、関東～青島ダイレクトサービス (PES2) は「K-PACIFIC」 (Voy.2501E/W)、関西～青島ダイレクトサービス (QDKS) は「A SUWA」 (Voy.2501E/W)、名古屋～青島ダイレクトサービス (TNS) は「A ATAGO」 (Voy.2501E/W) からとなる。またホームページURLの変更は、手続きが完了次第、新URLを公表する予定。

EXCHANGE QUOTATIONS (Closing)										
Currencies	U.S. \$		EURO		STG. £		CHF			
	Date	Spot	TTS Yen	TTB Yen	TTS Yen	TTB Yen	TTS Yen	TTB Yen	TTS Yen	TTB Yen
	12/27 (Fri)		159.18	157.18	166.34	163.34	202.23	194.23	176.73	174.93
	26 (Thu)	158.43	156.43	165.15	162.15	201.51	193.51	175.82	174.02	
	24 (Tue)	158.45	156.45	165.22	162.22	201.28	193.28	175.96	174.16	
	20 (Fri)	158.95	156.95	165.20	162.20	201.28	193.28	176.67	174.87	
	19 (Thu)	155.94	153.94	162.31	159.31	199.02	191.02	172.90	171.10	
	17 (Tue)	155.27	153.27	163.96	160.96	199.92	191.92	173.56	171.76	
	13 (Fri)	154.02	152.02	161.85	158.85	197.97	189.97	172.43	170.63	
	12 (Thu)	153.40	151.40	161.58	158.58	198.54	190.54	173.30	171.50	
	10 (Tue)	152.54	150.54	161.41	158.41	197.21	189.21	173.30	171.50	
	6 (Fri)	151.06	149.06	160.23	157.23	195.43	187.43	171.66	169.86	
	5 (Thu)	151.38	149.38	159.59	156.59	194.97	186.97	170.96	169.16	
	12/3 (Tue)	150.96	148.96	158.85	155.85	193.76	185.76	169.91	168.11	
	11/29 (Fri)	151.74	149.74	160.70	157.70	195.49	187.49	171.88	170.08	
	28 (Thu)	152.77	150.77	161.65	158.65	196.35	188.35	172.72	170.92	
	26 (Tue)	155.24	153.24	162.59	159.59	197.14	189.14	174.52	172.72	

Shipping Guide
株式会社 オーシャンコマース

住所：〒105-0013
東京都港区浜松町1-2-11 変ビル
電話：03(3435)7630/7658
(総務・経理・販売)

☎：0120-827-773
(購読・書籍のお問い合わせ・申し込み)
FAX：03(3435)7896
(総務・経理・販売・制作)

郵便振替口座番号 東京 0-63646
みずほ銀行 神田駅前支店
普通口座 1210053

定期購読料金
(8%消費税込価格)

1部	416円
1カ月	5,551円
3カ月	13,867円
6カ月	22,032円
基本年間契約	38,880円
法人一括 (3事業所で3部購読)	77,760円

日本～中国主要港直行コンテナ航路配船社一覧



CAOFEIDIAN (曹妃甸)	Kambara 03-3264-8805
Zuiyo 078-321-5515	KMTC 03-3500-5074
CHIWAN (赤湾)	Maersk 050-4560-2762
HMM 03-5425-4720	Minsheng 03-6400-8180
DALIAN (大連)	Namsung 03-5843-6111
CK Line 03-3271-1311	SINOTRANS 03-3595-6321
Dong Young 03-5843-6122	SITC 03-6212-1107
	Zuiyo 078-321-5515

FANGCHENG (防城)	T.S. Lines 03-3241-7810
FUZHOU (福州)	Ji Zhou Shipping 078-321-5515
HUANGPU (黄浦)	HEUNG A 03-3273-4981
JIANGYIN (江陰)	Ji Zhou Shipping 078-321-5515
JINGTANG (京唐)	Hede 045-623-3012
LIANYUNGANG (連雲港)	COSCO 03-6328-2011
KMTC 03-3500-5074	Namsung 03-5843-6111
SINOTRANS 03-3595-6321	SITC 03-6212-1107
LONGKOU (龍口)	SITC 03-6212-1107
NANJING (南京)	SINOTRANS 03-3595-6321
TCLC 03-4334-3801	
NANSHA (南沙)	Evergreen 03-6408-3400
SITC 03-6212-1107	
NANTONG (南通)	SINOTRANS 03-3595-6321
NINGBO (寧波)	CK Line 03-3271-1311
CK Line 03-6328-2011	Dongjin 03-6778-1802
Evergreen 03-6408-3400	Hapag 03-5212-6111
Ji Zhou Shipping 078-321-5515	Kambara 03-3264-8805
KMTC 03-3500-5074	Maersk 050-4560-2762
Namsung 03-5843-6111	Ningbo Ocean 06-6202-5778
ONE 03-5843-4043	OOCL 03-3493-6260
PanCon 03-3587-7415	

SINOTRANS 03-3595-6321	SITC 03-6212-1107
Yang Ming 03-5440-2683	Zim 03-5408-1730
QINGDAO (青島)	ASL 03-4334-3791
CCL 03-6226-6068	COSCO 03-6328-2011
DCL 03-4334-3791	EAS 03-5839-2425
Evergreen 03-6408-3400	JJSCO 03-6214-3080
Hapag 03-5212-6111	Kambara 03-3264-8805
KMTC 03-3500-5074	Maersk 050-4560-2762
Minsheng 03-6400-8180	Namsung 03-5843-6111
OOCL 03-3493-6260	SINOTRANS 03-3595-6321
SITC 03-6212-1107	SMC 045-623-3011
Zuiyo 078-321-5515	
QINHUANGDAO (秦皇島)	SITC 03-6212-1107
Rizhao (日照)	ASL 03-4334-3791
SITC 03-6212-1107	
SHANGHAI (上海)	ASL 03-4334-3791
CCL 03-6226-6068	CHINJIF 06-6536-6541
CK Line 03-3271-1311	COSCO 03-6328-2011
Dongjin 03-6778-1802	Emirates Shipping 03-6222-0128
Gold Star 03-5408-1725	Hapag 03-5212-6111
HASCO 03-6869-1261	JJSCO 03-6214-3080
Kambara 03-3264-8805	KMTC 03-3500-5074
Maersk 050-4560-2762	

Minsheng 03-6400-8180	Namsung 03-5843-6111
ONE 03-5843-4043	OOCL 03-3493-6260
PanCon 03-3587-7415	SINOTRANS 03-3595-6321
SITC 03-6212-1107	T.S. Lines 03-3241-7810
Wan Hai 03-5511-1562	Yang Ming 03-5440-2683
Zuiyo 078-321-5515	
SHANTOU (汕頭)	COSCO 03-6328-2011
SHEKOU (蛇口)	Evergreen 03-6408-3400
Interasia 03-3580-6555	OOCL 03-3493-6260
SINOTRANS 03-3595-6321	SITC 03-6212-1107
T.S. Lines 03-3241-7810	Wan Hai 03-5511-1562
Yang Ming 03-5440-2683	
SHIDAO (石島)	SITC 03-6212-1107
TAICANG (太倉)	HASCO 03-6226-5727
Ningbo Ocean 06-6202-5778	SITC 03-6212-1107
TCLC 03-4334-3801	
XIAMEN (廈門)	COSCO 03-6328-2011
Evergreen 03-6408-3400	Maersk 050-4560-2762
OOCL 03-3493-6260	SITC 03-6212-1107
T.S. Lines 03-3241-7810	Wan Hai 03-5511-1562
Yang Ming 03-5440-2683	
XINGANG/TIANJIN (新港/天津)	ASL 03-4334-3791
CK Line 03-3271-1311	EAS 03-5839-2425

Hapag 03-5212-6111	Kambara 03-3264-8805
KMTC 03-3500-5074	Maersk 050-4560-2762
Namsung 03-5843-6111	OOCL 03-3493-6260
SINOTRANS 03-3595-6321	SITC 03-6212-1107
Zuiyo 078-321-5515	
YANTAI (煙台)	SINOTRANS 03-3595-6321
SITC 03-6212-1107	
YANTIAN (塩田)	COSCO 03-6328-2011
Hapag 03-5212-6111	HMM 03-5425-4720
Maersk 050-4560-2762	ONE 03-5843-4043
OOCL 03-3493-6260	Wan Hai 03-5511-1562
YINGKOU (營口)	COSCO 03-6328-2011
ZHANGJIAGANG (張家港)	SINOTRANS 03-3595-6321
TCLC 03-4334-3801	
ZHANJIANG (湛江)	Wan Hai 03-5511-1562
ZHOUSHAN (舟山)	TCLC 03-4334-3801
WEIFANG (イ坊)	Hede 045-623-3012
SITC 03-6212-1107	
WEIHAI (威海)	CCL 03-6226-6068
SINOTRANS 03-3595-6321	SITC 03-6212-1107
Zuiyo 078-321-5515	
WENZHOU (温州)	SITC 03-6212-1107
WUHAN (武漢)	DTS 03-3238-6560

Shipping Guide

月

基本発行日: 祝日を除く月、水、金曜日 1部416円
 発行所 株式会社 オーシャンコマース 〒105-0013東京都港区浜松町1丁目2番11号(葵ビル)
 TEL: (03)3435-7470(編集)・7510(広告・スケジュール)・7630(販売・総務)
 FAX: (03)3435-7892(編集・広告・スケジュール) ☎: 0120-827-773(購読・書籍のお問い合わせ、申し込み)

(4) SHIPPING GUIDE Monday, January 6, 2025

国際コンテナ戦略港湾の強化に638億円

国交省港湾局予算 内航Ro/Ro船ターミナル強化も

国土交通省は12月27日、2025年度予算を発表、港湾局予算(24年度補正含まず)は、全体で前年度比横ばいの2,648億5,300万円、うち公共が2,622億1,200万円、非公共が前年度比5%減の26億4,100万円だった。主な項目別にみると、コンテナターミナルの整備や一体利用の促進、「ヒトを支援するAIターミナル」の機能強化など国際コンテナ戦略港湾の機能強化に638億円(国費)、内航フェリー・Ro/Ro船ターミナルの機能強化に115億円(国費)、国民の安全・

安心の確保に1,249億円(国費)をそれぞれ計上した。新規制度として、港湾における気候変動適応を推進するため、気候変動を考慮した施設の性能照査、浸水想定との作成と適応水準や適応時期に係る共通の目標の決定などを含む「協働防護計画(仮称)」の作成に対する港湾管理者への支援制度を創設する。対象港湾は国際戦略港湾と国際拠点港湾、重要港湾で補助率1/2以内。調査・検討では、排他的経済水域(EEZ)における浮

体式洋上風力発電設備の導入に向けた環境整備(拡充)やサーキュラーエコノミーへの移行に向けた港湾を核とする物流システムに関する検討、港湾におけるサイバーセキュリティ対策の強化を新設。

売上高物流コスト 比率上昇し5.45%に

JILS 24年度調査

日本ロジスティクスシステム協会(JILS)は、2024年度物流コスト調査報告書(速報版)(荷主企業が対象、有

輸出入貿易データベース検索Webソリューション



米国(AMSデータ)、メキシコを含むラテンアメリカの輸出入データを Web上で簡単な操作で照会およびランク、グラフ作成、EXCELに出力も可能

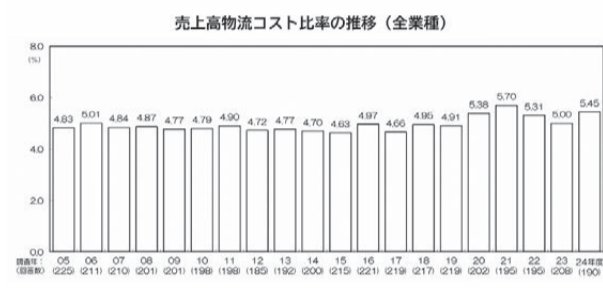
Descartes Systems Group 〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-11 葵ビル
 日本代理店(株) **オーシャンコマース** Tel: 03-3435-7510 Fax: 03-3435-7892
 E-Mail: tsurumachi@ocean-commerce.co.jp

税制改正では、国際戦略港湾、国際拠点港湾の港湾運営会社が取得した荷さばき施設などに係る課税標準の特例措置を2年間延長するとともに、資源・エネルギーなどの海上輸送ネットワークの拠点となる埠頭で整備する荷さばき施設などに係る課税標準の特例措置を2年間延長する。港湾における民有護岸の改良などの促進に係る特例措置を拡充・3年間延長する。

効回答190社)を発表、売上高物流コスト比率(全業種平均・速報値)は5.45%となり、前年度から0.45ポイント上昇した。近年、物流事業者からの値上げ要請などを理由に、売上高物流コスト比率は長

期的な上昇傾向にある。実際に過去20年間の調査と比較しても、5.70%を記録したコロナ禍の影響下にあった2021年度調査に次ぐ高さとなった。同一サンプルによる前年度比較が可能な「2年連続回答企業」(141社)における売上高物流コスト比率(全業種平均・速報値)は、5.28%で、前年度と比較して0.15ポイント下降している。物流コストなどの動向から、物

価(物流量あたり物流コスト)は上昇傾向にあるものの、それ以上に売上単価の伸びの方が大きいとしている。値上げ要請の有無については、回答企業168社のうち154社(91.7%)が要請を受けたと回答した。値上げ要請を受けた企業の割合は2024年度調査と比較して5.0ポイント上昇した。また、値上げ要請があったとの回答した企業154社のうち、150社(97.4%)の企業が「応じた」と回答した。



OCL		Orient Overseas Container Line Limited										INTERNET WEB SITE: http://www.oocl.com/japan/jpn/ [ISO 9002取得]									
We take it personally		カスタマーサービス直通電話																			
		輸出・全航路: (03)3493-6260 FAX(03)3493-6405					YOKOHAMA: 662-5983					KOBE: 303-8222									
		輸入・全航路: (03)3493-6262 FAX(03)3493-5797					SHIMIZU: 0120-975-324 (総合)					OSAKA: 6573-3888 (B/L発行)									
		B/L, D/Oカウンター: (03)5289-4551					0120-975-366 (リーファー)					NAGOYA: 231-6565									
KTX2+ECX1		Osaka	Kobe	Tokyo	Yokohama	Nagoya	New York	Savannah	Charleston												
GSL Maren	011S	1/17-18	1/22-22	1/19-19	1/19-20	1/21-21	3/4	3/9	3/11												
Bright Tsubaki	014S	1/31-1	2/5-5	No Sailing	2/2-2	2/4-4	3/18	3/23	3/25												
KTX3+ECC1		Tokyo	Nagoya	Yokkaichi	Kobe	Savannah	New York	Norfolk	Baltimore												
Phen Basin	111S	1/13-14	1/14-15	1/15-15	1/16-16	3/1	3/5	3/9	3/11												
OOCL Charleston	244S	1/20-21	1/21-22	1/22-22	1/23-23	3/8	3/12	3/16	3/18												
OOCL Norfolk	288S	1/27-28	1/28-29	1/29-29	1/30-30	3/15	3/19	3/23	3/25												
JPX		Kobe	Nagoya	Tokyo	Los Angeles	Oakland															
ONE Hanoi	051E	1/17-19	1/20-21	1/23-24	2/5	2/11															
ONE Orpheus	073E	1/24-26	1/27-28	1/30-31	2/12	2/18															
TBA	—	1/31-2	2/3-4	2/6-7	2/19	2/25															
KTX3+PNW1		Tokyo	Nagoya	Yokkaichi	Kobe	Vancouver	Seattle														
Phen Basin	111S	1/13-14	1/14-15	1/15-15	1/16-16	2/10	2/14														
OOCL Charleston	244S	1/20-21	1/21-22	1/22-22	1/23-23	2/17	2/21														
台湾・香港・中国		東京	仙台	常陸那珂/鹿島	千葉	川崎	横浜	清水	名古屋	四日市	神戸	大阪	高雄	台中	桃園	香港	蛇口	福州	厦門	黄浦	
AS Anne	002S	1/23-23	(1/17)	(1/21)	(1/21)	(1/22 am)	1/23-24	—	1/24-25	—	1/25-26	1/26-26	—	1/30	1/30	(泉州)	1/30	—	—	—	
GSL Maren	011S	1/19-19	(1/10)	(1/14)	(1/17 am)	(1/17 am)	1/19-20	—	1/21-21	—	1/22-22	1/17-18	—	—	—	1/25	—	—	—	1/28	
OOCL Charleston	244S	1/20-21	(1/17)	(1/16)	(1/17 am)	(1/17 am)	1/20-21	—	1/21-22	1/22-22	1/23-23	—	1/26	1/27	1/28	—	1/28	1/30	1/30	1/31	
Cebu	027S	1/24-25	(1/17)	(1/21)	(1/21)	(1/22 am)	1/25-25	—	1/27-27	—	1/28-28	—	1/30	—	—	1/31	2/2	2/3	2/3	2/3	
Jinyunhe	1894S	1/22-23	—	—	—	—	1/23-23	—	1/23-24	—	(門司)	1/26-26	—	—	—	(塩田)	1/29	(南沙)	1/30	—	
Cape Syros	076S	1/30-30	(1/24)	(1/28)	(1/28)	(1/29 am)	1/30-31	—	1/31-1	—	2/1-2	2/2-2	—	2/13	2/13	(泉州)	2/13	—	—	—	
Wan Hai 333	005S	1/26-26	(1/17)	(1/21)	(1/24 am)	(1/24 am)	1/26-27	—	1/28-28	—	1/29-29	1/24-25	—	—	—	2/1	—	—	—	2/4	
OOCL Norfolk	288S	1/27-28	(1/24)	(1/23)	(1/24 am)	(1/24 am)	(1/24)	—	1/28-29	1/29-29	1/30-30	—	2/2	2/3	2/4	—	2/4	2/6	2/6	2/7	
Spectrum N	066S	1/31-1	(1/24)	(1/28)	(1/28)	(1/29 am)	2/1-1	—	—	—	1/30-30	1/29-30	2/6	—	—	2/7	2/9	2/10	2/10	2/10	
Fengyunhe	1896S	1/29-30	—	—	—	—	1/30-31	—	—	—	(門司)	2/2-2	—	—	—	(塩田)	2/5	(南沙)	2/6	—	
東南アジア・海峡地		東京	仙台	常陸那珂/鹿島	千葉	川崎	横浜	清水	名古屋	四日市	神戸	大阪	Singapore	Jakarta	Pt. Kelang	P. Gudang	Semarang	Surabaya	Belawan	Yangon	Penang
AS Anne	002S	1/23-23	(1/17)	(1/21)	(1/21)	(1/22 am)	1/23-23	—	1/24-24	—	1/25-26	1/26-26	2/6	—	2/7	2/9	2/12	2/12	2/13	2/18	2/17
OOCL Charleston	244S	1/20-21	(1/17)	(1/16)	(1/17 am)	(1/17 am)	1/19-20	—	1/21-22	1/22-22	1/23-23	—	2/1	2/4	2/7	2/9	2/12	2/7	2/8	2/6	2/11
Cebu	027S	1/24-25	(1/17)	(1/21)	(1/21)	(1/22 am)	1/25-25	—	1/27-27	—	1/28-28	—	2/8	2/11	—	—	—	—	—	—	—
Cape Syros	076S	1/30-30	(1/24)	(1/28)	(1/28)	(1/29 am)	1/30-30	—	1/31-31	—	2/1-2	2/2-2	2/20	—	2/21	2/23	2/26	2/26	2/27	3/4	3/3
OOCL Norfolk	288S	1/27-28	(1/24)	(1/23)	(1/24 am)	(1/24 am)	(1/24)	—	1/28-29	1/29-29	1/30-30	—	2/8	2/11	2/14	2/16	2/14	2/15	2/13	2/18	2/16
Spectrum N	066S	1/31-1	(1/24)	(1/28)	(1/28)	(1/29 am)	2/1-1	—	—	—	1/30-30	1/29-30	2/6	—	—	—	—	—	—	—	—
KTX 1, 2, 3, 4 台湾・香港・中国		志布志/大分	博多	門司	高松/徳島	松山/今治	岩国	宇部	徳山	広島	水島	和歌山	神戸	高雄	台中	香港	蛇口	福州	厦門	黄浦	
AS Anne	002S	1/17	1/17	1/22	1/17	1/17	1/22	(1/23 am)	1/22	1/22	1/23	1/23	1/25-26	—	1/30	(泉州)	1/30	—	—	—	
GSL Maren	011S	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/22-22	—	—	1/25	—	—	—	1/28	
OOCL Charleston	244S	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/23-23	1/26	—	—	1/28	1/30	1/30	1/31	
Cebu	027S	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/17	1/23-23	1/30	—	—	1/31	—	2/3	2/3	
Cape Syros	076S	1/24	1/24	1/29	1/24	1/24	1/29	(1/30 am)	1/29	1/29	1/30	1/30	2/1-2	—	2/13	(泉州)	2/13	—	—	—	
Wan Hai 333	005S	1/24	1/24	1/24	1/24	1/24	1/24	(1/28 am)	1/24	1/24	1/24	1/23	1/29-29	—	—	—	—	—	—	2/4	
OOCL Norfolk	288S	1/24	1/24	1/24	1/24	1/24	1/24	(1/28 am)	1/24	1/24	1/24	—	1/30-30	2/2	—	—	2/4	2/6	2/6	2/7	
Spectrum N	066S	1/24	1/24	1/24	1/24	1/24	1/24	(1/28 am)	1/24	1/24	1/24	1/23	1/30-30	2/6	—	—	2/7	—	2/10	2/10	
KTX 1, 3 東南アジア・海峡地		Singapore	Jakarta	Port Kelang	Pasir Gudang	Semarang	Surabaya	Belawan	Yangon	Penang											
AS Anne	002S	2/6	—	—	2/7	—	2/9	—	2/12	2/12	2/12	2/12	2/13	—	—	—	—	—	—	2/17	
OOCL Charleston	244S	2/1	—	—	2/9	—	2/9	—	2/7	2/7	2/7	2/7	2/6	—	—	—	—	—	—	2/9	
Cape Syros	076S	2/20	—	—	2/21	—	2/23	—	2/26	2/26	2/26	2/26	2/27	—	—	—	—	—	—	3/3	
OOCL Norfolk	288S	2/8	—	—	2/11	—	2/16	—	2/14	2/14	2/14	2/14	2/13	—	—	—	—	—	—	2/16	
SOUTH KOREA/CHINA		東京	横浜	名古屋	神戸	大阪	釜山	上海	青島	張家港	南京	鎮江	太倉	連雲港							
Mild Tune	2453S	1/15-15	1/15-16	—	—	—	—	1/18	—	1/24	1/26	1/28	1/18	2/1							
JJ Tokyo	2502W	—	—	1/15-15	—	—	—	1/18	—	1/24	1/26	1/28	1/18	2/1							
Conscience	2503S	—	—	—	1/17-17	1/16-17	—	1/20	—	1/24	1/26	1/28	1/20	2/1							
CMA CGM Balkal	233S	—	—	—	—	1/13-13	1/15	—	1/17	—	—	—	—	—							
Mild Sonata	2504S	1/22-22	—	—	—	—	—	1/25	—	1/31	2/2	2/4	1/25	2/8							
JJ Tokyo	2503W	—	—	1/22-22	—	—	—	1/25	—	1/31	2/2	2/4	1/25	2/8							
JJ Sun	2504S	—	—	—	1/24-24	1/23-24	—	1/27	—	1/31	2/2	2/4	1/27	2/8							
CMA CGM Zingaro	233S	—	1/18-19	—	—	1/20-20	1/22	—	1/24	—	—	—	—	—							

*All Schedules are subject to change with/without notice.